

Fun for All into the Future






サステナビリティ 笑顔未来へつなぐ

バンダイナムコグループは、IP軸戦略のもと、ファンとともに、バンダイナムコグループが向き合うべき社会的課題に対応したサステナブル活動を推進します。



うきまのがっこう
©BANDAI

Contents

	地球環境との共生 1		尊重しあえる職場環境の実現 43
	気候変動対策の強化 6		働きやすい職場環境の実現 47
	資源・原材料の持続可能な利用 13		人材育成 54
	サプライチェーンマネジメント(環境) 18		ダイバーシティ&インクルージョンの推進 57
			サプライチェーンマネジメント(労働) 59
	適正な商品・サービスの提供 20		コミュニティとの共生 61
	適切な表現にもとづいた商品・サービスの提供 24		地域コミュニティとの連携 66
	商品・サービスの安心・安全 25		次世代に向けた教育支援 74
	顧客満足度の向上 31		ファンコミュニティの活性化 81
	サプライチェーンマネジメント(品質) 32		
	知的財産の適切な活用と保護 36		
	IPの適切な活用／特許の相互活用 39		
	IPの保護 41		

地球環境との共生



© BN

私たちバンダイナムコグループは地球環境に配慮した事業を推進することが、社会と企業の持続可能な発展の実現に欠かせないことを認識し、様々なステークホルダーとともに、地球環境との共生を目指します。



©創通・サンライズ

関連するSDGs



重点項目

- 気候変動対策の強化
- 資源・原材料の持続可能な利用
- サプライチェーンマネジメント（環境）



気候変動対策の強化

気候変動による異常気象や災害の多発、また地球環境への影響は、事業はもちろん世界中の社会活動に大きなリスクをもたらします。事業活動に伴うCO₂排出量を削減し、気候変動へ対応することは企業の責務と考えます。

→ [脱炭素化に向けた取り組み](#)

→ [商品における取り組み](#)

→ [コンテンツ制作における取り組み](#)

FOCUS

CO₂排出量削減に向けて

バンダイナムコグループでは、社会が直面している自然環境の問題に対応するべく、エネルギー由来の二酸化炭素排出量削減による脱炭素化に向けた2050年までの数値目標とステップを設定。各事業分野において年度ごとの削減目標を設定し、取り組みを進めています。

※ Scope3対応（サプライチェーンにおけるCO₂排出量管理）については現在取り組み中となります。

→ [CO₂排出量推移はこちら（ESGデータ）](#)

脱炭素化に向けた中長期目標

現在	省エネルギー施策のさらなる推進、再生可能エネルギーの導入など（Scope3 への対応もあわせて進めていく）
2024年	自社拠点（Scope1,2）におけるエネルギー由来の二酸化炭素排出量 2019 年度比 15%削減
2030年	自社拠点（Scope1,2）におけるエネルギー由来の二酸化炭素排出量 2019 年度比 35%削減（2013 年度比 50%）
2050年	自社拠点（Scope1,2）におけるエネルギー由来の二酸化炭素排出量 実質ゼロ



資源・原材料の持続可能な利用

持続可能な循環型社会の実現は企業の責務です。海洋汚染や生態系へ悪影響があるプラスチックごみの発生抑制や原材料の見直し、廃棄物の削減が一層強く求められている現在。バンダイナムコグループは天然資源をはじめとした原材料の使用削減と効率的な利用に加え、廃棄物の発生抑制・削減に取り組みます。

→ 原材料調達における取り組み

→ リサイクルにおける取り組み



サプライチェーンマネジメント（環境）

環境負荷低減は企業単体の努力で実現することはできません。バンダイナムコグループはサプライチェーン全体で環境問題に取り組み、環境負荷を低減した持続可能なバリューチェーンの実現を目指します。

→ 物流における取り組み

主な取り組み



気候変動対策の強化

自社拠点で再生可能エネルギーを積極的に導入



気候変動対策の強化

バンダイホビーセンターでソーラーパネルの設置を推進



気候変動対策の強化

「動くガンダム」に再生可能エネルギーを活用



気候変動対策の強化

アミューズメント施設の環境負荷を低減



気候変動対策の強化

ライブ・イベントにおいても環境に配慮



気候変動対策の強化

「エコメダル認定制度」による環境性能評価を実施



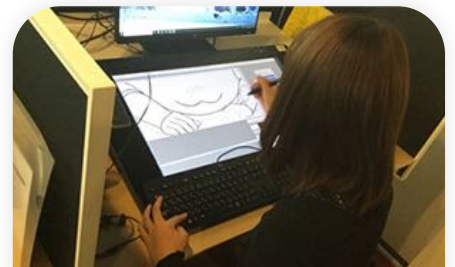
気候変動対策の強化

業務用ゲーム機において「エコアミューズメント製品」を認定



気候変動対策の強化

業界一体となって気候変動に挑む「Playing For The Planet Alliance」に参画



気候変動対策の強化

アニメーション制作において環境負荷を低減



資源・原材料の持続可能な利用

プラスチック代替素材でエコと楽しさをつなぐ



資源・原材料の持続可能な利用

業務用ゲーム機の製造においてグリーン調達を实践



資源・原材料の持続可能な利用

「MONOカプセル」でプラスチック素材の使用量を削減



資源・原材料の持続可能な利用

梱包材の再資源化を推進



資源・原材料の持続可能な利用

環境に配慮したカプセルレス商品で新しい価値を創出

GUNPLA
RECYCLING
PROJECT

資源・原材料の持続可能な利用

「ガンプラリサイクルプロジェクト」で循環型社会に貢献



資源・原材料の持続可能な利用

ガシャポンカプセルのリサイクルを推進



サプライチェーンマネジメント（環境）

物流事業においてグリーン経営認証を取得



サプライチェーンマネジメント（環境）

エコドライブを推進



サプライチェーンマネジメント（環境）

低公害車の導入を推進

気候変動対策の強化



気候変動による異常気象や災害の多発、また地球環境への影響は、事業はもちろん世界中の社会活動に大きなリスクをもたらします。事業活動に伴うCO₂排出量を削減し、気候変動へ対応することは企業の責務と考えます。

脱炭素化

商品

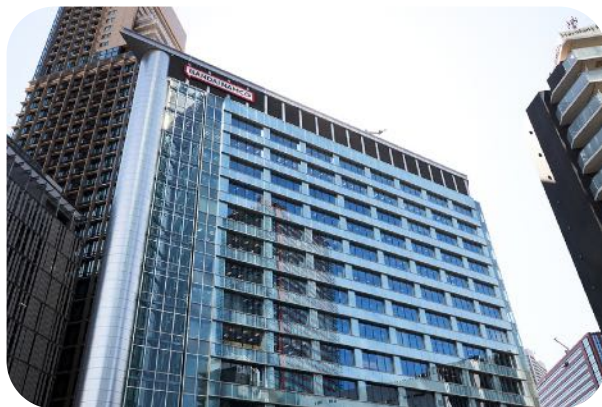
コンテンツ制作

脱炭素に向けた取り組み

自社拠点で再生可能エネルギーを積極的に導入

脱炭素化に向けて、グループ会社主要拠点において、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを進めています。

バンダイナムコ未来研究所、バンダイナムコアミューズメント本社ビル（住友不動産田町駅前ビル）や、BANDAI SPIRITSのプラモデル生産工場であるバンダイホビーセンターなどにおいては使用する電力の全量を実質的に再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、オフィス業務で発生するCO₂排出量を実質ゼロとしています。また物流業務を取り扱うバンダイロジパル・ロジパルエクスプレスでは、倉庫内の照明のLEDへの切り替え、定温倉庫用としてエネルギー効率の高い冷房設備への切り替え等の省エネルギー化を進めており、これらの取り組みを通じて、これまでに年間2,000t-CO₂以上のCO₂排出削減を実現しました。



バンダイナムコ未来研究所

バンダイホビーセンターでソーラーパネルの設置を推進

BANDAI SPIRITSのプラモデル生産工場であるバンダイホビーセンターでは、2006年の竣工時より本館壁面に324基のソーラーパネルを設置し、太陽光で発電した電力を使用したり、雨水・地下水の再利用システムを設置し、施設内で水を再利用するなど、環境負荷低減に努めてきました。さらに、追加施策として屋上にソーラーパネルを設置し、2023年4月以降使用します。屋上のソーラーパネルの年間の電力自給量は約26万kWhとなる計画です。



バンダイホビーセンター（静岡市）

「動くガンダム」に再生可能エネルギーを活用

「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」（横浜市）では、「動くガンダム」の演出を含む使用電力を再生可能エネルギー化するなど、IPを通じてファンと一体となった環境施策を推進しています。



「GUNDAM FACTORY YOKOHAMA」（横浜市） ©創通・サンライズ

アミューズメント施設の環境負荷を低減

自社が運営するアミューズメント施設において、施設やアミューズメント筐体で使用しているハロゲンランプや蛍光灯をLEDランプに切り替えるとともに、お客さまの安全面や防犯面などで支障のない範囲をライトダウンし、ゲーム機の明かりなどで運営を行う「ライトダウンキャンペーン」を自主的に実施しています。実施にあたっては照明設備面で実施要件を満たしている店舗を選び、母体商業施設様のご理解をいただくことはもちろん、ライトダウンを行って

もお客さまの安全が十分確保でき、お客さまが安心してお楽しみいただけるエリアであることを事前に確認しています。2021年度は、東京オリンピック・パラリンピックが掲げる持続可能コンセプト「Be better, together」に同調し、大会期間中のライトダウンをアミューズメントユニットの各本社・営業拠点を含む90拠点で実施しました。



ライトダウンを行っているアミューズメント施設

ライブ・イベントにおいても環境に配慮

バンダイナムコミュージックライブでは、ライブ・イベントの照明にLEDを積極的に利用し省エネを図っているほか、舞台道具を再利用し、木材などの自然材料の使用量削減に努めています。また、会場でオリジナルのエコバッグを販売するほか、ライブ・イベント中に使用する使い捨てのペンライトを、繰り返し使える電池式のペンライトに切り替えるなど、再利用可能なライブグッズの販売に努めています。



再利用可能なLEDペンライトを販売し、ライブ照明をLED化したライブ・イベント

(ラブライブ！サンシャイン!! Aqours 6th LoveLive! ～KU-RU-KU-RU Rock 'n' Roll TOUR～<SUNNY STAGE>)

©2017 プロジェクトラブライブ！サンシャイン!!

脱炭素化

商品

コンテンツ制作

気候変動対策の強化



気候変動による異常気象や災害の多発、また地球環境への影響は、事業はもちろん世界中の社会活動に大きなリスクをもたらします。事業活動に伴うCO₂排出量を削減し、気候変動へ対応することは企業の責務と考えます。

脱炭素化


商品

コンテンツ制作

商品における取り組み

「エコメダル認定制度」による環境性能評価を実施

玩具・ホビー事業の製品すべてを対象に、独自の環境基準をクリアした製品に与えられる「エコメダル」認定制度を導入しています。「製品本体」「容器包装」「取扱説明書その他」の категорияごとに設定した基準を満たせば認定となり、2021年度は490アイテムがエコメダル認定となりました。(昨対153%)。エコメダル認定製品は、パッケージや

WEBサイト (おもちゃの会社バンダイのサステナビリティサイト)  でチェックできます。



業務用ゲーム機において「エコアミューズメント製品」を認定

バンダイナムコアミューズメントでは、国内向け業務用ゲームを対象に、「エコアミューズメント製品要求事項」を策定。ガイドラインに定められた「グリーン調達基準適合」「省電力」「省資源」等の7つの基準をもとに製品を評価し、一定レベルを満たすものを「エコアミューズメント製品」と認定しています。なお、2019年2月以降に発売されたバンダイナムコアミューズメント設計の製品はすべて「エコアミューズメント製品」となっています。



機動戦士ガンダム 戦場の絆II
©創通・サンライズ

脱炭素化

商品

コンテンツ制作

気候変動対策の強化



気候変動による異常気象や災害の多発、また地球環境への影響は、事業はもちろん世界中の社会活動に大きなリスクをもたらします。事業活動に伴うCO₂排出量を削減し、気候変動へ対応することは企業の責務と考えます。

脱炭素化

商品

コンテンツ制作

コンテンツ制作における取り組み

業界一体となって気候変動に挑む「Playing For The Planet Alliance」に参画

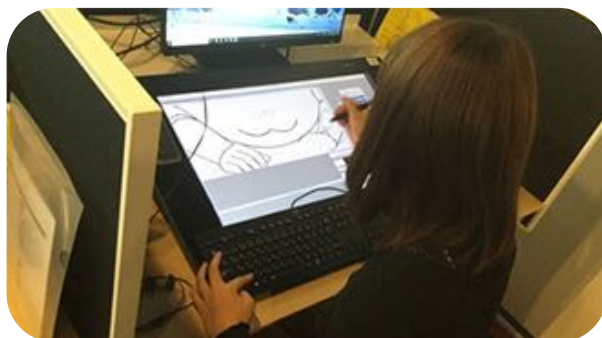
バンダイナムコエンターテインメントは、国連の気候行動サミットで発足した「Playing For The Planet Alliance」のメンバーです。2022年度は前年度に引き続き、スマートフォン向けゲームアプリ「PAC-MAN」を通じて、国連環境計画（UNEP）が主催している「Green Game Jam」に参加しています。森林再生の重要性を伝えることを目的としたゲーム内イベント「Play for the Forest」を実施したほか、検索すると緑が増える検索エンジン「Ecosia」を通じた植林活動への貢献も呼びかけています。



PAC-MAN™ & ©Bandai Namco Entertainment Inc.

アニメーション制作において環境負荷を低減

バンダイナムコピクチャーズでは、デジタル作画導入によるペーパーレス化を推進しています（大阪スタジオ、福島スタジオ）。アニメーションのデジタル化は、それまでの作画用紙の大量使用を抑制するだけでなく、ネットワークを経由した作画の送付が可能となるため、運送によるCO2排出の削減にも貢献しています。



脱炭素化

商品

コンテンツ制作

資源・原材料の持続可能な利用

持続可能な循環型社会の実現は企業の責務です。海洋汚染や生態系へ悪影響があるプラスチックごみの発生抑制や原材料の見直し、廃棄物の削減が一層強く求められている現在。バンダイナムコグループは天然資源をはじめとした原材料の使用削減と効率的な利用に加え、廃棄物の発生抑制・削減に取り組めます。

原材料調達

リサイクル

原材料調達における取り組み

プラスチック代替素材でエコと楽しさをつなぐ

BANDAI SPIRITSでは石油由来プラスチックの使用量を削減し、CO²排出量を削減するため、プラモデル商品の一部、もしくは全体にリサイクル素材やプラスチック代替素材を使用する取り組みを進めています。産業廃棄物として排出される卵の殻を一部に使用した新素材・卵殻プラスチックや、石灰石を主原料とする新素材などのプラスチック代替素材を、一部のプラモデルに採用し、ファンの皆さまに楽しみながら環境配慮の取り組みに触れていただけるような商品開発を行っています。



卵殻プラスチックを素材の一部に使用したプラモデル
©創通・サンライズ ©BANDAI SPIRITS



石灰石を主原料とする新素材を使用したプラモデル

業務用ゲーム機の製造においてグリーン調達を実践

バンダイナムコアミューズメント（旧バンダイナムコゲームスAM事業部）は2005年、アミューズメント業界では初めてグリーン調達への取り組みをスタートさせました。人体や環境への悪影響が懸念される化学物質の適正管理に取り組まれているお取引先様から、国内外の法規制に対応し、環境負荷にも配慮した部品・材料・半製品・製品・販促品・包装材等を積極的に購入。環境負荷の低減につなげています。



環境負荷の少ない材料で作られた業務用ゲーム機（製品名：ミニクレ）。
工具なしでのパーツの取り外しを可能とし、リサイクルしやすくしているほか、
照明はLEDのみを使用するなど環境に配慮した設計となっている

「MONOカプセル」でプラスチック素材の使用量を削減

バンダイは2013年から、ガシャポンのカプセル容器として、「MONOカプセル」の投入を開始しました。本カプセルは、使用するプラスチック素材の種類をPP（ポリプロピレン）1種類としたもので、2種類のプラスチック素材で構成されている「ガシャポン」カプセル容器と比べて約6割の軽量化を実現しています。現在では、ほぼすべてのカプセルが「MONOカプセル」へ移行しています。（カプセル自体が製品のものを除く）



梱包材の再資源化を推進

バンダイナムコグループでは、商品・サービスの販売に関わる梱包材や容器の削減と再資源化に取り組んでいます。

BANDAI SPIRITSでは「一番くじ」の梱包材をプラスチック製ブリスターから段ボール製に積極的に移行しています。



©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション
©Bandai Namco Entertainment Inc.

環境に配慮したカプセルレス商品で新しい価値を創出

バンダイでは2015年から、ガシャポンの一部の商品において、カプセル容器を使用しない、商品そのままの形で排出されるカプセルレス商品を販売しています。商品本体の一部をカプセルに見立て、付属するパーツを取り付けたりすることで大きなフィギュアになるなどの仕様を取り入れ、新しい商品価値を生み出しつつ、環境にも配慮した商品として好評を得ています。2015年10月から2022年3月までにシリーズ累計5,938万個以上を出荷しました。

このほか、環境に配慮した取り組みとして、プラスチック素材の種類をPP（ポリプロピレン）1種類にすることで約6割に軽量化した「MONOカプセル」の導入促進や、玩具商材などにおけるプラスチック製ブリスターの段ボールへの変更、パッケージの簡素化などを進めています。2021年度の容器包装使用のプラスチックの使用量は売上原単位で2.01t/億円となり、2014年度の売上原単位2.42t/億円と比べて17%の削減を達成しました。



カプセルがおもちゃの一部になった「カプキャラ」シリーズ
※この商品は販売を終了しています。

原材料調達

リサイクル

資源・原材料の持続可能な利用

持続可能な循環型社会の実現は企業の責務です。海洋汚染や生態系へ悪影響があるプラスチックごみの発生抑制や原材料の見直し、廃棄物の削減が一層強く求められている現在。バンダイナムコグループは天然資源をはじめとした原材料の使用削減と効率的な利用に加え、廃棄物の発生抑制・削減に取り組みます。

原材料調達

リサイクル

リサイクルにおける取り組み

「ガンプラリサイクルプロジェクト」で循環型社会に貢献

バンダイナムコグループ4社（バンダイナムコホールディングス、BANDAI SPIRITS、バンダイナムコアミューズメント、バンダイロジパル）の共同企画として、「ガンプラリサイクルプロジェクト」を2021年4月よりスタートしました。本プロジェクトでは、ガンダムシリーズのプラモデル「ガンプラ」のランナー（プラモデルの枠の部分）を回収し、最先端技術である「ケミカルリサイクル」によって新たなプラモデル製品へと生まれ変わらせることで、ファンの皆さまと共に循環型社会の形成に貢献していくことを目指しています。

集まったランナーは、BANDAI SPIRITSのプラモデル生産工場であるバンダイホビーセンターに輸送し、同工場の製造工程で排出されるプラスチックと合わせて、一部をケミカルリサイクルの実現に向けた実証実験用の材料とし、残りをマテリアルリサイクルとサーマルリサイクルにより再活用します。



©創通・サンライズ

ガシャポンカプセルのリサイクルを推進

バンダイナムコグループでは、2006年からガシャポンのカプセルの回収・リサイクルを実施しています。さらに2021年には、取り組みをさらに拡大すべく、バンダイ、バンダイナムコアミューズメントおよびバンダイロジバル3社共同での「ガシャポンカプセルリサイクル」を開始しました。2021年4月～2022年3月の1年間で約22トンの空カプセルを回収しています。

回収した空カプセルは、カプセルの原料となる「ペレット」（リサイクルペレット）の状態に戻され、通常の「ペレット（バージンペレット）」との混合、成型を経て、再びカプセルとして生まれ変わります。現在リサイクルペレットは約20%の割合で配合されています。

また、「ガシャポンのデパート」「ガシャポンバンダイオフィシャルショップ」では、空カプセル回収ボックス「ガシャポイントステーション」を施設内に設置し、お客さまに楽しんでいただきながら空カプセルを回収できるよう工夫しています。



原材料調達

リサイクル

サプライチェーンマネジメント（環境）



環境負荷低減は企業単体の努力で実現することはできません。バンダイナムコグループはサプライチェーン全体で環境問題に取り組み、環境負荷を低減した持続可能なバリューチェーンの実現を目指します。

物流における取り組み

物流事業においてグリーン経営認証を取得

バンダイロジパル・ロジパルエクスプレスでは、環境保全を目的としてエコドライブ活動や低公害車導入などに取り組むとともに、安全・環境に配慮した運転（エコドライブ）を17年以上継続して推進。活動開始時と比較して、平均燃費を12.5%改善しました（2022年5月現在）。あわせて、環境負荷の少ない事業運営を実施している運送事業者に対して与えられる「グリーン経営認証」を取得しています。



エコドライブを推進

ロジパルエクスプレスでは長年にわたりエコドライブに取り組み、独自の環境マニュアルの整備や、デジタルタコグラフを活用した燃費管理と教育の実施、ドライバーコンテスト等の取り組みを継続しています。

また、この一環として、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団主催のエコドライブ活動コンクールに毎年参加しています。2018年度には応募件数665件の中から最も優秀な取り組みを行った団体に贈られる「国土交通大臣賞」を受賞、以降も「優秀認定証」を複数回受賞しています。



エコドライブ研修

低公害車の導入を推進

バンダイロジパルおよびロジパルエクスプレスでは、CNG車・ハイブリッド車・新長期規制車など、環境負荷を削減するための車両を積極的に導入しており、コンテナシャシーなどを除く保有車両228台中90台が低燃費かつ低排出ガスの認定車となっています。また、首都圏近郊の集配を担当する3t車のうち1両で、廃食用油100%のバイオディーゼル燃料を使用しています。



適正な商品・サービスの提供



© BN

お客さまの安心・安全を第一に考え、適正な倫理規範のもと、品質や安全性が確保された商品・サービスをパートナーと一体となって提供し、顧客満足度の向上に努めます。



PAC-MAN™ & ©Bandai Namco Entertainment Inc.

関連するSDGs



重点項目

- 適切な表現にもとづいた商品・サービスの提供
- 商品・サービスの安心・安全
- 顧客満足度の向上
- サプライチェーンマネジメント（品質）

→ 適切な表現にもとづいた商品・サービスの提供

私たちバンダイナムコグループが提供する商品・サービスにおいて、誤認や誤解のおそれのない正確で分かりやすい表現を心がけるとともに、多様な商品・サービスを扱う企業グループとして責任ある適切な表現に取り組みます。

→ 倫理・表現に関する取り組み

→ 商品・サービスの安心・安全

安心・安全を第一に、誰もが楽しめる高品質で安全、安心な商品やサービスを提供する。バンダイナムコグループは世界中の人々に満足いただける商品・サービスの提供を企業の責務と捉え、検証と改善に取り組み続けます。

→ 商品・サービスにおける取り組み → 施設・ライブにおける取り組み

→ ユニバーサルデザインに向けた取り組み

→ 顧客満足の上

お客さまの声はより良い商品・サービスの提供に欠かせない重要なものです。バンダイナムコグループはお客さまとのコミュニケーションを通じて、一層の品質向上に取り組みます。

→ 顧客満足向上への取り組み



サプライチェーンマネジメント（品質）

高品質で安全、安心な商品・サービスの提供には、サプライヤーと一体となった取り組みが欠かせません。バンダイナムコグループはサプライヤーの皆様と連携、より良い商品・サービスをお客さまへお届けします。

→ サプライヤーとの取り組み

→ 物流における取り組み

主な取り組み



適切な表現にもとづいた商品・サービスの提供

倫理・表現に関する情報をグループ内で集積・共有



適切な表現にもとづいた商品・サービスの提供

表現に関する社内研修を実施



商品・サービスの安心・安全

独自の品質基準に基づく品質保証を実施



商品・サービスの安心・安全

業務用アミューズメント筐体の安全を検証



商品・サービスの安心・安全

品質・安全意識の向上に向けた取り組みを推進



商品・サービスの安心・安全

アミューズメント施設の安全点検などを定期的実施



商品・サービスの安心・安全

ライブ・イベントの運営においても安全に配慮



商品・サービスの安心・安全

映像パッケージにおいてバリアフリー音声ガイドなどを活用

BANDAI NAMCO
Fun for All into the Future

商品・サービスの安心・安全

多様な色覚に対応



顧客満足の向上

「お客さま相談センター」でお客さまの声を集約



サプライチェーンマネジメント（品質）

サプライヤーの生産工程において品質管理を徹底

BANDAI NAMCO
Fun for All into the Future

サプライチェーンマネジメント（品質）

サプライヤーとの情報共有の機会を設定



サプライチェーンマネジメント（品質）

ドライバーへの安全運転教育を徹底



サプライチェーンマネジメント（品質）

輸送・配送に関する外部認証などを取得

適切な表現にもとづいた 商品・サービスの提供

私たちバンダイナムコグループが提供する商品・サービスにおいて、誤認や誤解のおそれのない正確でわかりやすい表現を心がけるとともに、多様な商品・サービスを扱う企業グループとして責任ある適切な表現に取り組めます。

倫理・表現に関する取り組み

倫理・表現に関する情報をグループ内で集積・共有

バンダイナムコグループでは、グループサステナビリティ部会の直下に「グループ倫理分科会」を設置しています。本分科会は事業統括会社の担当で構成され、適正で倫理的な表現のありかたの検討に向けた議論や情報収集を行っています。このほかにも、表現の倫理に関する最新情報の共有を目的に、国内グループ各社担当者が参加する倫理担当座談会を定期的を開催するなど、グループ一丸となって取り組んでいます。



グループ倫理分科会の様子（オンラインで開催）

表現に関する社内研修を実施

バンダイナムコグループでは、提供するすべての商品・サービスについて、表現が適切か否かを発売前にチェックしています。この社内チェック機能の強化を進めるとともに、社員に向けた各種勉強会や、従業員向けメールマガジンの配信など、社内啓発にも取り組んでいます。



倫理表現に関する勉強会の様子
（写真は2019年度の活動／2020年度、2021年度はオンラインにて実施）

商品・サービスの安心・安全

安心・安全を第一に、誰もが楽しめる高品質で安全、安心な商品やサービスを提供する。バンダイナムコグループは世界中の人々に満足いただける商品・サービスの提供を企業の責務と捉え、検証と改善に取り組み続けます。

商品・サービス

施設・ライブ

ユニバーサルデザイン

商品・サービスにおける取り組み

独自の品質基準に基づく品質保証を実施

バンダイでは年間14,500点におよぶ商品を取り扱っています。そのうち新商品だけでも8,000点にのぼり、その種類も多岐にわたります。商品の特性や幅広いお客さまのニーズを考慮し、さまざまな品質基準を設け、設計や素材の選定を行っています。

品質基準は一般社団法人日本玩具協会の定める玩具安全基準（=ST基準）に加え、「安全性」「性能」「表示」の大きく3つのカテゴリーに分かれている約260項目の独自の基準から成り立っています。この品質基準から、商品の仕様に応じて必要な基準を抽出して検査し、製品化を行っています。

例えば、対象年齢に応じて商品の形状を確認したり、首にかける紐などは、長さに配慮するとともに一定の荷重がかかるように外れる構造を採用しています。

一方、ハイターゲット（大人層）向けの商品を展開しているBANDAI SPIRITSにおいても同様に、バンダイやバンプレストで長年培ってきた経験を活かして、独自の品質基準を設けています。海外に出荷する際には、海外グループ会社や外部機関と連携して各国・地域の規制に対応しています。



玩具の安全性検証



BANDAI SPIRITS品質基準書

経済産業省「製品安全対策優良企業表彰」において「製品安全対策ゴールド企業」に認定

バンダイは、経済産業省が主催する「製品安全対策優良企業表彰」の第2回（2008年度）、第6回（2012年度）、第9回（2015年度）において、「大企業 製造事業者・輸入事業者部門」の最上位賞である「経済産業大臣賞」を受賞し、「製品安全対策ゴールド企業[※]」に認定されています。



またバンダイナムコエンターテインメント（旧バンダイナムコゲームズ）も第8回において「大企業 製造事業者・輸入事業者部門 優良賞」を受賞しています。

※ 製品安全対策ゴールド企業：「経済産業大臣賞」を3回以上受賞した企業に授与されるものです。認定から5年経過ごとに更新審査が行われ、認定が維持された際にはマークに★が追加されます。2020年の更新審査の認定では、「大企業 製造事業者・輸入事業者部門」で初めて「製品安全対策ゴールド企業」マークに★が追加されました。

業務用アミューズメント筐体の安全を検証

アミューズメント施設を運営するバンダイナムコアミューズメントでは、お客さまにゲームを安心して安全に楽しんでいただくために、運用面も含めたさまざまな観点から業務用アミューズメント筐体の安全性を検証しています。製品開発・改善にあたっては、お客さまが手に触れる部分の安全性のほか、施設スタッフがメンテナンスする際の安全性も考慮。開発、生産、品質保証、サービスなど、さまざまな部署による安全性検証（セーフティーレビュー）を実施しています。2021年度は、新製品を中心に43件のセーフティーレビューを行いました。



安全性検証（セーフティーレビュー）

品質・安全意識の向上に向けた取り組みを推進

製品・サービス品質を維持向上するためには、社員一人ひとりが品質・安全への意識を高めるとともに、モノづくりの正しい知識・ノウハウを持ち、自主的に品質向上に取り組んでいく環境づくりが重要です。

バンダイナムコエンターテインメントでは、一般消費者向けの商品、販促品等に関する不具合事例や最新法規制等の情報共有を目的とした説明会を適宜開催しています（2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大を受けてオンライン開催としました）。また、モノづくりの基礎知識を若手社員や部署異動者向けに周知することを目的として、製品の品質関連情報を適宜発信しています。

商品・サービス

施設・ライブ

ユニバーサルデザイン

商品・サービスの安心・安全

安心・安全を第一に、誰もが楽しめる高品質で安全、安心な商品やサービスを提供する。バンダイナムコグループは世界中の人々に満足いただける商品・サービスの提供を企業の責務と捉え、検証と改善に取り組み続けます。

商品・サービス

施設・ライブ

ユニバーサルデザイン

施設・ライブにおける取り組み

アミューズメント施設の安全点検などを定期的を実施

バンダイナムコアミューズメントでは、保有するすべてのアミューズメント施設において、建築、電気、消防、また筐体（製品）に関する安全点検（注意点検・自主点検）を定期的を実施しています。

安全性の高い遊具であっても、使用方法や設置条件によっては、けがや事故など思わぬ事態が発生する可能性があります。そこで、設置遊具の安全性はもとより、実際に施設に設置された状態での安全性も検証し、安心して施設をご利用いただけるよう努めています。こうした店内設備の安全点検のほかにも、バックヤードを含む電気設備に特化した定期点検を専門業者の手で実施しています。

2021年度は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、リモートでの安全確認にも取り組みました。



安全点検

ライブ・イベントの運営においても安全に配慮

バンダイナムコミュージックライブでは、ライブ・イベントにおいて、来場するお客さまに安心して楽しみいただけるよう、安全に配慮した運営に努めています。

事故の未然防止を図るとともに、地震など非常の事態が発生した際にも迅速に対応できるよう、ライブ・イベントの運営マニュアルの中に対策・対応方法を詳細に記載するとともに、事前のスタッフミーティングにて関係者に周知徹底しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ガイドラインを策定して対応するとともに、オンラインでの配信などにも取り組んでいます。

このほか、ユーザビリティとセキュリティの向上を目的として、紙チケットから電子チケットへの移行を推進しています。



ライブ・イベント会場入り口での手荷物検査

商品・サービス

施設・ライブ

ユニバーサルデザイン

商品・サービスの安心・安全

安心・安全を第一に、誰もが楽しめる高品質で安全、安心な商品やサービスを提供する。バンダイナムコグループは世界中の人々に満足いただける商品・サービスの提供を企業の責務と捉え、検証と改善に取り組み続けます。

商品・サービス

施設・ライブ

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインに向けた取り組み

映像パッケージにおいてバリアフリー音声ガイドなどを活用

バンダイナムコフィルムワークスでは、視覚や聴覚に障がいのある方にも映像作品を楽しんでいただけるよう、作品内の背景や人の動き、表情などを音声で解説する「バリアフリー音声ガイド」を導入したり、字幕を表示する取り組みを行っています。



バリアフリー音声ガイド導入作品
「映画クレヨンしんちゃん 謎メキ！花の天カス学園」
© 臼井儀人／双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK 2021

多様な色覚に対応

バンダイナムコエンターテインメントでは、特定の色が見えづらいという色覚多様性者にも問題なくゲームをプレイいただけるよう、色覚特性シミュレーターを活用し、誰もが楽しめるゲーム開発に取り組んでいます。

商品・サービス

施設・ライブ

ユニバーサルデザイン

顧客満足の上



お客さまの声はより良い商品・サービスの提供に欠かせない重要なものです。バンダイナムコグループはお客さまとのコミュニケーションを通じて、一層の品質向上に取り組みます。

顧客満足向上への取り組み

「お客さま相談センター」でお客さまの声を集約

バンダイにおいてお客さまとのコミュニケーションに重要な役割を果たしているのが「お客さま相談センター」です。

当センターに寄せられるお客さまの声は月間約1万件にのぼります。その一つひとつに真摯に対応することはもちろん、個人情報を除くすべての内容をデータベースに蓄積し、社内にフィードバックしています。この内容を商品開発に反映し、さらなる商品品質向上に活かすことにより顧客満足の上につなげています。



サプライチェーンマネジメント（品質）

高品質で安全、安心な商品・サービスの提供には、サプライヤーと一体となった取り組みが欠かせません。バンダイナムコグループはサプライヤーの皆様と連携、より良い商品・サービスをお客さまへお届けします。

サプライヤーとともに

物流において

サプライヤーとの取り組み

サプライヤーの生産工程において品質管理を徹底

中国・深圳にあるBANDAI (SHENZHEN) は、玩具ホビー事業における生産管理の重要拠点であり、現地サプライヤーの品質管理・品質検査や各種安全性の確認などの業務を担っています。品質保証活動の充実に向けた情報収集・現場への共有を行い、生産品質課題の共有化を図るとともに、サプライヤーの検査体制の強化や社員教育を推進しています。

また、バンダイナムコフィルムワークスでは、DVD・Blu-ray Discパッケージのアッセンブルを行う工場を対象として、製造工程への立ち会い検査を実施しています。また、ライブ・イベント会場にて販売するグッズの製造工場に対しても、自社基準を記載した工場監査チェックリストに基づき、ヒアリング調査や工場の環境視察を行っています。

このほか、アートプレストでは、委託先での生産工程における製品の品質の維持、不良品の発生防止を目的に、品質管理体系を図式化し共有するとともに、定期的に工場監査を実施。生産現場における製品の品質管理の徹底、向上に取り組んでいます。例えば、生産工程の各セクションで1時間に1回、抜取検査を実施。また初期ロットを用いて丁合検査を行い、早い段階での不備の発見・改善に努めています。これにより、材料ロスなどの環境負荷



現地工場における生産管理の様子



グッズ商品 梱包状況確認の様子

の低減にもつながっています。また、使用する資材については、製品タイトルごとにデータベースを構築して管理するとともに、新規に資材を導入する際は品質基準に沿った外部検査を実施することで、安全性の確保に努めています。

サプライヤーとの情報共有の機会を設定

バンダイではサプライヤーの皆様との定期的なコミュニケーション機会を設け、情報共有や優良サプライヤーの表彰などを行っています。一例として、国内外の玩具関連の法改正に伴う安全基準の変更や、バンダイが独自に定める品質基準についての情報を共有する「協力メーカー様品質勉強会」を毎年実施しています。

サプライヤーとともに

物流において

サプライチェーンマネジメント（品質）

高品質で安全、安心な商品・サービスの提供には、サプライヤーと一体となった取り組みが欠かせません。バンダイナムコグループはサプライヤーの皆様と連携、より良い商品・サービスをお客さまへお届けします。

サプライヤーとともに

物流において

物流における取り組み

ドライバーへの安全運転教育を徹底

ロジパルエクスプレスでは、ドライバーを対象に運行管理者研修、各種安全運転研修など各種の研修を実施するほか、年1回のドライバーコンテストを開催し、優秀なドライバーを表彰することで、モチベーションの向上と安全運転への意識向上を徹底しています。

また、新規採用したドライバーの教育においてドライバーインストラクター（添乗教育指導員）制度を導入し、ドライバーインストラクターによる見極め検定などを実施しています。このとき指導を行うドライバーインストラクターについても、社内のカリキュラムにもとづき育成しています。



安全運転教育の様子

輸送・配送に関する外部認証などを取得

ロジパルエクスプレスでは、輸配送業務の安全性向上に向けた取り組みの一環として、（公社）全日本トラック協会の貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク）制度を活用しています。この制度は、トラック運送事業者を対象に、交通安全などへの事業所単位での取り組みを評価、一定の基準をクリアした事業所を「安全性優良事業所」として認定するもので、申請資格要件を満たしている全営業所（20拠点）が本認定を取得しています。

このほか、バンダイロジパルでは、通関業務について「AEO認定通関業者[※]」の資格を取得するほか、品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001（ロジパルエクスプレス含む）」、個人情報保護に関する規格である「プライバシーマーク」など、各種公的認証を取得しています。

このように外部の認証・認定を積極的に活用することで、必要な体制整備などをスムーズに行い、業務品質の向上につなげています。

[※] 貨物のセキュリティー管理とコンプライアンス（法令遵守）の体制が整備されたものとして、あらかじめ税関長の認定を受けた通関業者。バンダイロジパルは国内で6社目の認定。



サプライヤーとともに

物流において

知的財産の適切な活用と保護



重要な経営資源であるIP（キャラクターなどの知的財産）を適切に活用・保護することにより、エンターテインメントの持続的な発展に寄与します。



PAC-MAN™& ©Bandai Namco Entertainment Inc.

関連するSDGs



重点項目

- IPの適切な活用／特許の相互活用
- IPの保護

→ IPの適切な活用／特許の相互活用

バンダイナムコグループの持つIPを通じて、世界中のファンに楽しんでいただけるよう、知的財産の適切な活用やバンダイナムコが持つ特許の相互利用に取り組んでいます。

→ IPを活用した社会貢献

→ IPの保護

バンダイナムコグループでは、お客さまに安心・安全な商品・サービスをお届けし、その世界観を守るため、社外のパートナーと緊密に連携して知的財産権侵害対策に取り組んでいます。

→ 模倣品・海賊版への対策

主な取り組み



GUNDAM
OPEN
INNOVATION

IPの適切な活用／特許の相互活用

IPを活用したオープンイノベーションを推進



IPの適切な活用／特許の相互活用

ゲームを活用した社会課題解決について研究



IPの保護

模倣品への対策を徹底



IPの保護

海賊版撲滅に向けた啓発活動に参画



IPの保護

令和3年度（2021年度）「知財功労賞」にて「特許庁長官表彰（商標）」を受賞

IPの適切な活用／特許の相互活用

バンダイナムコグループの持つIPを通じて、世界中のファンに楽しんでいただけるよう、知的財産の適切な活用やバンダイナムコが持つ特許の相互利用に取り組んでいます。

IPを活用した社会貢献

IPを活用したオープンイノベーションを推進

バンダイナムコグループは、人口問題・地球環境問題の解決に向けた新しい発想や技術を募集する企画「ガンダムオープンイノベーション」を2021年度から実施しています。



GUNDAM
OPEN
INNOVATION

プロジェクト名の由来である「機動戦士ガンダム」シリーズは、人類が宇宙に移民した架空の時代である「宇宙世紀」を舞台としています。作中では人口の爆発的な増加、悪化する地球環境など、現代社会にも通じるさまざまな社会課題が提示されてきました。そして、ガンダムの持つ壮大な世界観には、これらの課題の解消にもつながるような、まだ見ぬ新しい技術や可能性がみついています。そこでバンダイナムコは、「宇宙世紀」を起点に人類の革新や人類が望む未来社会を構想し、本気でその実現に挑むというプロジェクトを立ち上げました。

プロジェクトではさまざまな分野のエキスパートやイノベーター、研究機関や先端企業などのパートナーを幅広く募集し、ワクワクするような未来の実現にともに取り組んでいます。

詳細はこちらをご覧ください。

[→ガンダムオープンイノベーション公式サイト](#) 

ゲームを活用した社会課題解決について研究

バンダイナムコエンターテインメントは、青山学院大学総合プロジェクト研究所「知財と社会問題研究所 Solving Social Problems through Intellectual Properties」（以下 SSP-IP）と共同で、「ゲームを活用した社会課題解決の可能性の研究」を2021年1月より開始しています。主にゲームコンテンツにおけるアクセシビリティやポリティカルコレクトネス（社会的包摂を目指すための社会課題の探求）、ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の尊重と包摂）などをテーマに、コンテンツを提供する側としてどのようにこうした社会課題と向き合っていくべきか議論するとともに、自社のIPを社会課題の解決に活用する方法なども検討しています。

2021年6月に実施したスタートアップシンポジウムでは、共同研究内容の紹介や「ゲーム実況におけるコミュニケーション」に関する講演、「ゲームが想像する新たな公共圏」をテーマにパネルディスカッションを実施しました。また2022年12月27日には、本研究内容を集約した書籍「知的財産で世界を変える」（同友館）を発行しました。



IPの保護

バンダイナムコグループでは、お客さまに安心・安全な商品・サービスをお届けし、その世界観を守るため、社外のパートナーと緊密に連携して知的財産権侵害対策に取り組んでいます。

模倣品・海賊版への対策

模倣品への対策を徹底

国内外の市場およびインターネット販売を含むウェブサイトの監視や、税関への輸出入差止申立を適宜行い、模倣品の早期発見、流入防止ならびに排除を行っています。さらには国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）のメンバーとして各国の行政機関・関連団体と連携し、実効性のある対策に努めています。



正規品（左）と模倣品（右）
©創通・サンライズ

海賊版撲滅に向けた啓発活動に参画

バンダイナムコグループは、一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構（CODA）が事務局を務める「マンガ・アニメ海賊版対策協議会」と連携し、日本が誇るマンガ・アニメを全世界で守り、さらなる良質な作品を生むプロジェクト「Manga-Anime Guardians Project」（MAGP）に参画しています。

本プロジェクトにおける啓発活動の一環として、2021年からバンダイナムコピクチャーズ製作のアニメーション作品「ケロロ軍曹」とNO MORE映画泥棒のコラボレーション動画を制作しています。この動画は全国の劇場で上映されたほか、YouTubeでも期間限定にて公開しています（2023年1月現在）。

動画はこちらからご覧ください。

第1弾「STOP！海賊版」ケロロ軍曹x NO MORE映画泥棒

→<https://www.youtube.com/watch?v=ka0J9qhxXQo> 

第2弾「#7秒で捕まる宇宙人」

→<https://www.youtube.com/watch?v=Jc66nnv1tXI> 



FOCUS

令和3年度（2021年度）「知財功労賞」にて「特許庁長官表彰（商標）」を受賞

バンダイは、経済産業省特許庁の令和3年度「知財功労賞」において、知的財産権制度活用優良企業として「特許庁長官表彰（商標）」を受賞しました。

「知財功労賞」は、知的財産権制度を有効に活用し円滑な運営・発展に貢献した企業等に対し、毎年、経済産業大臣表彰及び特許庁長官表彰が行われるものです。

今回の受賞では、知的財産の観点による「キャラクターマーチャンダイジング」の保護と促進を両立する取り組みや、さまざまなステークホルダーと協力的な模倣品対策が評価されました。



尊重しあえる職場環境の実現



© BN

従業員をはじめバンダイナムコグループに関わるあらゆる人々が互いを尊重しあい、生き生きと働くことができる職場環境を実現することで、社会と企業の持続的な発展を目指します。



たまごっち ©BANDAI

関連するSDGs



重点項目

- 働きやすい職場環境の実現
- 人材育成
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- サプライチェーンマネジメント（労働）

重点項目と主要施策

→ 働きやすい職場環境の実現

バンダイナムコグループは、『誰もが各自のライフステージに合わせ、やりがいを持って働き続けることができる』企業を目指し、従業員が健康で安心して働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。

→ 社内制度・インフラの整備 → 社員とその家族へのサポート

→ 人材育成

バンダイナムコグループ各社が、それぞれの事業特性に合わせた人事管理（採用・配置・育成・評価・報酬・福利厚生など）を行っています。

→ [教育研修](#)

→ ダイバーシティ&インクルージョンの推進

バンダイナムコグループは、さまざまな才能、個性、価値観を持つ企業や社員が生き生きと活躍することができる「同魂異才」の集団でありたいと考え、働く社員の多様性を尊重するとともに、グループ共通の基本方針として、新卒・キャリア、性別、年齢、国籍、人種、宗教や性的指向などにこだわらない採用・登用を行っているとともに、多様な人材が活躍することができ、心身ともに健康に働くことができる制度や環境整備に取り組んでいます。

→ [ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み](#)

→ サプライチェーンマネジメント（労働）

サプライチェーンにおける労働環境の改善は、雇用の定着や商品・サービス品質の向上を促し、お客さまをはじめとしたあらゆるステークホルダーを笑顔にすることにつながります。バンダイナムコグループは、グループのサプライチェーン全体で、人権の保護と労働環境の向上に取り組んでいきます。

→ [サプライチェーンの労働環境に関する取り組み](#)

主な取り組み



働きやすい職場環境の実現

社内制度・サポート体制を拡充



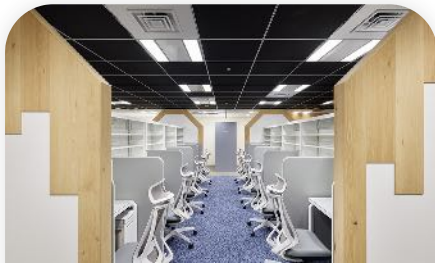
働きやすい職場環境の実現

グループ共有サテライトオフィス「YU-PORT」を活用



働きやすい職場環境の実現

働きやすいオフィス環境を整備



働きやすい職場環境の実現

制作スタジオを集約し業務環境を向上



働きやすい職場環境の実現

よりよい職場づくりを目指す「ACTviewプロジェクト」を推進



働きやすい職場環境の実現

物流業務の働きやすさを評価する公的認証を取得



働きやすい職場環境の実現

社員と家族をさまざまな角度から支える制度を充実



働きやすい職場環境の実現

「ファミリーイベント」を実施



働きやすい職場環境の実現

社内表彰制度でモチベーションを向上



人材育成

ALL BANDAI NAMCOの意識醸成に向けてグループ合同研修を実施



人材育成

グループ各社で事業特性に応じた教育研修を実施



人材育成

作画塾・美術塾でクリエイターを育成



人材育成

社員のキャリアプラン構築を支援



人材育成

アルバイトやパートナー社員の能力向上・登用に注力



ダイバーシティ&インクルージョンの推進

社内での啓発活動を推進



ダイバーシティ&インクルージョンの推進

アビリンピックに毎年参加



サプライチェーンマネジメント (労働)

行動規範などに基づくサプライヤー監査を実施



サプライチェーンマネジメント (労働)

「バンダイサプライヤーアワード」でサプライヤーを表彰



働きやすい職場環境の実現

バンダイナムコグループは、『誰もが各自のライフステージに合わせ、やりがいを持って働き続けることができる』企業を目指し、従業員が健康で安心して働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。

社内制度・インフラ

社員と家族のために

社内制度・インフラの整備

社内制度・サポート体制を拡充

バンダイナムコグループでは、さまざまな家庭事情を抱える社員が働きやすいような社内制度やサポート体制を整え、社員が安心して働ける環境をつくることで、モチベーションの向上を図っています。

事由に応じた休暇取得や時短勤務が行える「ライフサポート規程」をはじめ、柔軟な働き方を可能にするためのフレックスタイム制、裁量労働制、時短勤務、時差勤務など、グループ各社がその事業形態にあわせて各種制度を準備しています。

また定期健康診断やストレスチェックなども定期的に行い、社員が心身ともに健康で働けるよう取り組んでいます。なかでも長時間勤務については、グループ管理本部内に長時間労働対策担当を配置して毎月および年間の各社残業時間を把握するとともに、勤務間インターバルの設定や22時以降の深夜残業の禁止、e-learningによる長時間労働対策の啓蒙活動の実施、有休取得推進日と計画有休の実施といった施策を推進しています。

グループ共有サテライトオフィス「YU-PORT」を活用

バンダイナムコグループでは、各拠点のオフィスの一部を、グループ社員が自由に使えるサテライトオフィスとして開放しています。これによりグループ会社間における交流を活発化し、連携を強化することを目指しています。



働きやすいオフィス環境を整備

バンダイナムコエンターテインメントでは、チームや個人が仕事の内容に合わせて働く時間、場所を主体的に選択できる「Activity Based Working」を導入しています。

また、バンダイナムコフィルムワークスの恵比寿オフィスでは、個人専用のデスクではなく、社員が自由に着席場所を選んで仕事ができるフリーアドレス制度を導入しています。異なる部署の社員でも隣り合って自由に会話することができるため、新たなアイデアや取り組みが生まれやすい環境となっています。



制作スタジオを集約し業務環境を向上

バンダイナムコフィルムワークスは、分散していた自社の制作スタジオを、2022年3月にひとつの拠点に集約しました。これによりビルの安全管理を最適なかたちで行えるようになりました。あわせて独自の設備、運営体制を導入し、より安心・快適に働ける制作環境の構築を図っています。スタジオではこのほか照明器具のLED化などにも取り組んでおり、環境負荷の低減にもつなげています。



新オフィス「ホワイトベース」（杉並区）

よりよい職場づくりを目指す「ACTiviewプロジェクト」を推進

バンダイナムコアミューズメントは「境界がない新しい遊びの世界を創造する」ことを目的に、さまざまな属性、価値観を持つ“一人ひとり”がイキイキと活躍できる職場づくりを行う「ACTiviewプロジェクト」に取り組んでいます。

2021年度はダイバーシティ&インクルージョンを社内に広げていくためのワークショップ「BNAM meets Diversity」を開催しました。このほか、イントラネット上に掲載しているWEB社内報では、社員のさまざまな働き方を紹介しています。こうした情報発信を通じて、社員が互いの働き方への価値観を受け入れ、自分に合った働き方を選びやすい風土の醸成を図っています。



物流業務の働きやすさを評価する公的認証を取得

ロジパルエクスプレスは、従業員が安心して働ける職場環境の構築を通じて、安全・安心を第一にしたサービスを提供することを目指しています。その一環として、国土交通省「運転者職場環境良好度認証制度（働きやすい職場認証制度）※」の一つ星を取得しています。

※自動車運送事業（トラック・バス・タクシー事業）における運転者の労働条件や労働環境を、国土交通省が認定する第三者機関が評価、認証する制度。運転者不足に対応するための総合的取り組みの一環として2020年に創設された。



社内制度・インフラ

社員と家族のために



働きやすい職場環境の実現

バンダイナムコグループは、『誰もが各自のライフステージに合わせ、やりがいを持って働き続けることができる』企業を目指し、従業員が健康で安心して働くことができる職場環境づくりに取り組んでいます。

社内制度・インフラ

社員と家族のために

社員とその家族へのサポート

社員と家族をさまざまな角度から支える制度を充実

バンダイナムコグループでは働きやすい環境づくりに向けて、社員とその家族をさまざまな角度からサポートする制度の充実に取り組んでいます（制度の詳細や導入状況は各社で異なります）。

アニバーサリー制度の導入

グループ各社で社員の誕生日をお祝いするアニバーサリー制度を導入しています。社員の誕生日には、お祝いのギフトに社長や上司のメッセージを添えてプレゼントしています。またバンダイでは、社員の子どもの誕生日に社長のメッセージカードとこども商品券を贈呈しています。

バンダイナムコウィルでは、誕生日は家族などと大切な時間を過ごしてほしいという思いのもと、特別休暇として誕生日休暇制度を設けており、2021年度の誕生日休暇の取得率は100%となっています。

就学祝い金制度

社員の子どもたちが保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校に入園または入学する際にお祝い金を支給し、成長を応援しています。

第3子グループ出産・子育て支援金

社員に子どもが生まれた際、第1子・第2子について各社でお祝い金を支給しています。さらに第3子以降が誕生した場合は、グループとして1人につき300万円を支給しています。

こうのとりの休暇・支援金

バンダイでは、妊娠を望む社員が事業年度内に休暇を取得できる制度を整備するほか、不妊治療についても費用を補助しています。

結婚休暇／配偶者出産休暇

社員の結婚、また社員や配偶者の出産に際して、それぞれ特別休暇（有給）を付与しています。

育児休業

子どもが2歳になるまでの期間、育児休業を取得可能です。男性の育児休業取得も推奨しており、取得者は増加傾向にあります。

→[育児休業取得に関するデータはこちら（ESGデータへ）](#)

短時間勤務制度

小学6年生以下の子どもを養育する社員を対象とした短時間勤務制度を整備。さまざまなスタイルの子育てを応援しています。

ライフサポート休暇

不妊治療を含む通院、家族の介護や病気、子どもの不登校への対応などで一時的に休暇が必要な際に、年間30日まで休暇を取得できる制度を設けています。

「ファミリーイベント」を実施

バンダイナムコグループ各社で、グループ各社の社員同士や、日頃から社員を応援し支えている社員の家族との交流を図る「ファミリーイベント」を実施しています。

バンダイナムコフィルムワークスでは近年、新型コロナ感染拡大下でも安心して参加できるよう、オンラインでイベントを開催しています。2020年度と2021年度の累計で、のべ300名の社員とその家族が参加しました。イベント当日は、ガンブラ（プラモデル）教室やアニメーター直伝のお絵描き教室、「ラブライブ！サンシャイン!!」のライブ応援体験会、また開催月が7月であったことから七夕にちなんだイベントなどを実施しました。

バンダイナムコエンターテインメントにおいても、2021年度はオンラインでイベントを開催。プラモデルの組み立て体験、イラストコンテストやクイズ大会など、子どもから大人まで楽しく盛り上げられるコンテンツを配信し、多くの社員とご家族にご参加いただきました。



バンダイナムコフィルムワークスでのファミリーイベントの様子
© 創通・サンライズ

社内表彰制度でモチベーションを向上

バンダイナムコグループとして毎年、「BANDAI NAMCOアワード」と題して、その年最も輝いたチームを表彰しています。

審査に当たっては、コンテンツ等のヒットの状況、クリエイティブ性、話題性などの観点に加え、積極的な「変革」「挑戦」を行ったかも重要なポイントとしています。こうした表彰制度を通じて、グループ社員のモチベーションを向上し、さらなる挑戦を促しています。

これに加えて、グループ各社でも独自の表彰制度を運用しています。バンダイナムコウィルでは、1年を通しての社員の業務功績、永年勤続（3年・5年・10年・15年・20年）、スポーツ・文化面での活躍やそうした活動へのサポートなどを評価する「スタッフ表彰」制度を導入しており、年に一度表彰を行っています。



社内制度・インフラ

社員と家族のために

人材育成

バンダイナムコグループ各社が、それぞれの事業特性に合わせた人事管理（採用・配置・育成・評価・報酬・福利厚生など）を行っています。

教育研修

ALL BANDAI NAMCOの意識醸成に向けてグループ合同研修を実施

IP軸戦略をグローバルで推進するためには、ユニットや事業の壁を越え、一体となって事業に取り組むALL BANDAI NAMCOとしての意識醸成が重要であるとの考えから、グループ合同研修を実施しています。

主な研修内容としては、新卒1年目や5年目といった節目に行う「年次研修」、新任役員・新任マネージャー研修といった「管理職研修」などがあります。また、グループの将来を担うと期待される国内外の人材を対象として意識付けと人脈構築の機会を設け、ともにグループの未来を考える場を提供することを目的とした「グローバル次期経営者育成研修」も実施しています。

グループ各社で事業特性に応じた教育研修を実施

バンダイナムコグループ各社で、個々の事業特性に合わせた教育研修を行っています。

バンダイナムコエンターテインメント

役割に応じたスキルを身につけるための「階層別研修」に加え、特定のスキルやスタンスを身につけてほしい社員を対象とする「選抜型研修」、個々のニーズに対応した「自由選択型研修」を実施しています。



バンダイでの社員研修（アドベンチャープログラム）

バンダイ

新卒社員を対象に、チームビルディングの重要性を認識してもらう「バンダイアドベンチャープログラム」を実施。社員の語学力アップを応援する「早朝英語活動（通称エイカツ）」なども実施しています。

バンダイナムコフィルムワークス

新人育成のスキルやマインドのインプットを行う「育成担当者研修」、中堅層に必要なスキル獲得のための社外研修など、さまざまな研修を実施しています。

バンダイナムコアミュージメント

主体的なキャリア志向の醸成を図るプログラムや、自身の強みを知るためのアセスメントを含め、年齢層やライフステージに応じたプログラムと、ジョブや職種の人材要件に沿ったプログラムを用意。この両輪で多彩な人材の活躍を促進しています。

作画塾・美術塾でクリエイターを育成

アニメーション制作において重要な役割を担うクリエイターの人材不足が顕在化しています。バンダイナムコフィルムワークスでは、次世代のアニメ作品を支える人財の育成を目指し、「サンライズ作画塾」「サンライズ美術塾」を運営しています。現場で活躍する優秀な講師陣による指導のもと、アニメーション制作の基本から実践までを学ぶことができます。さらに奨励金制度により塾生の生活をサポートしています。



サンライズ美術塾

社員のキャリアプラン構築を支援

バンダイナムコグループでは、社員一人ひとりのキャリアの自立を支援し、将来の夢や目標のプランニングを促すことを目的に、グループ横断でのキャリアプラン申告制度を設けています。また商品やサービス、IP創出にかかるアイデアなどを公募する各種ビジネスコンテストを実施。社員が自身の適性やモチベーションを意識する機会をつくり、キャリアプランを描きやすくなるようサポートしています。

アルバイトやパートナー社員の能力向上・登用に注力

全国でアミューズメント施設を運営し、リアルな体験としての「遊び」をお届けしているバンダイナムコアミューズメントでは、施設の運営を支えるアルバイトやパートナー社員の能力向上や積極的な登用に注力しています。

アルバイトやパートナー社員が仕事を魅力的だと感じ、イキイキと活躍できる環境づくりを目的に、「キャリアチャレンジ制度」を導入しています。役割ごとに等級を設け、定期的な評価を通じてランクアップを目指せる仕組みです。なかでも上位の等級として認められるためには全社統一試験に合格する必要があり、会社としてこの試験へのチャレンジを促すだけでなく、合格支援サポートを行うことで、職務内容を超えた能力向上の機会としています。

さらに、「店舗プロフェッショナル正社員」の社員区分を導入。これは、生まれ育った地元など、自分が希望する地域に密着した働き方を原則として、店長業務を筆頭に施設運営の仕事に特化して活躍する社員です。この店舗プロフェッショナル正社員への登用を積極的に行うことで、アルバイト・パートナー社員のキャリアアップの機会としています。

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

バンダイナムコグループは、さまざまな才能、個性、価値観を持つ企業や社員が生き生きと活躍することができる「同魂異才」の集団でありたいと考え、働く社員の多様性を尊重するとともに、グループ共通の基本方針として、新卒・キャリア、性別、年齢、国籍、人種、宗教や性的指向などにこだわらない採用・登用を行っているとともに、多様な人材が活躍することができ、心身ともに健康に働くことができる制度や環境整備に取り組んでいます。

ダイバーシティ&インクルージョンへの取り組み

社内での啓発活動を推進

バンダイナムコグループでは、ダイバーシティ&インクルージョンについての理解を促進するため、社員向けセミナーやe-learningなどを適宜実施しています。

グループの特例子会社であるバンダイナムコウィルではこれに加えて、障がいのある社員も含めた全員で、それぞれが仕事に対して大切だと思うことを話し合う「ウィルのwillプロジェクト」を2021年度より実施。定期的な対話を通じて社員が立場や属性を超えて話しやすい風土を醸成し、会社全体の業務の質向上や、働く意欲の向上を目指しています。



「ウィルのwillプロジェクト」の様子

アビリンピックに毎年参加

グループの特例子会社であるバンダイナムコウィルでは、障がいがある方が日々の業務で培った技能を競う「アビリンピック」に毎年参加しています。

2021年12月に開催された第41回全国アビリンピックには6名の社員が出場し、製品パッキング部門で銀賞、銅賞、ワード・プロセッサ部門で銅賞、オフィスアシスタント部門で銅賞に輝くなど好成績を収めました。また、2022年1月に開催されたアビリンピック東京大会でも、1名が東京代表として選出されています。

こうした機会をさらなる研鑽へのモチベーションにつなげ、業務の質向上に役立てています。



サプライチェーンマネジメント（労働）

サプライチェーンにおける労働環境の改善は、雇用の定着や商品・サービス品質の向上を促し、お客さまをはじめとしたあらゆるステークホルダーを笑顔にすることにつながります。バンダイナムコグループは、グループのサプライチェーン全体で、人権・労働環境の向上に取り組んでいます。

サプライチェーンの労働環境に関する取り組み

行動規範などに基づくサプライヤー監査を実施

バンダイナムコグループ各社では、製造などを委託するサプライヤーについて適宜監査やヒヤリングを実施し、労働環境などに不適切な点がないかを確認するとともに、必要に応じて改善指導などを行っています。



中国生産工場でのBFAの様子



バンダイでは、バンダイ製品を生産する海外の最終梱包工場（2021年度は180工場）に対して、品質監査とCoC（Code of Conduct：行動規範）監査を一元化した「BANDAI Factory Audit」（BFA）を実施しています。「強制労働」「児童労働」「労働時間」「賃金及び手当」「懲罰」「差別」「環境保護」「製造国に由来」の8つのテーマについて基準を設け、その遵守を宣言した「バンダイCOC宣言」のもと、独自の「BFAマニュアル」に基づいて監査を行っています。これに加えて、「バンダイCOC宣言」や各種管理マニュアルなどは、日本語、英語、中国語で制作し、メーカー様向けホームページにも掲載。常に最新の内容を確認いただけるようにしています。

バンダイナムコグループでは、サプライヤーとの取引開始時に、強制労働など人権侵害の禁止を含む7つの大項目に関して違法行為がないことを確認したサプライヤーのみと取引を行うこととしています。また、新規に取引を行う業務用ゲーム製品の組付工場においては、就労環境を含む確認項目についてヒヤリングを行い、必要に応じて監査を実施しています（2021年度は新規取引工場なし）。

「バンダイサプライヤーアワード」でサプライヤーを表彰

バンダイでは世界で対応を求められる人権・労働関連の基準や、生産環境についての情報共有を行う「サプライヤーカンファレンス」を毎年実施しており、サプライヤーに向けて積極的に情報を発信・共有をするとともに、バンダイが設ける評価指標を高いレベルでクリアしているサプライヤーを表彰する「バンダイサプライヤーアワード」を制定。表彰されたサプライヤーには、他のサプライヤーを対象として講演を行っていただくなど、現場での取り組みノウハウを共有しています。このような取り組みを通じ、お取引先様に法令遵守や労働環境への対応を促し、一体となって進めています。



→[サプライヤーカンファレンスの詳細はこちら](#)

コミュニティとの共生



© BN

バンダイナムコグループが地域やファンから愛され、社会から必要とされる企業であり続けるために、コミュニティとともに生き、発展していくことを目指します。



たまごっち ©BANDAI

関連するSDGs



重点項目

- 地域コミュニティとの連携
- 次世代に向けた教育支援
- ファンコミュニティの活性化

重点項目と主要施策

→ 地域コミュニティとの連携

バンダイナムコグループは地域社会の一員として、地域に密着した社会活動に取り組むとともに、IPを活用し、地域経済の活性化にも取り組み続けます。

→ 自社拠点における取り組み

→ 地域活性化への貢献

→ 被災地への支援



次世代に向けた教育支援

未来を担う子どもたちはかけがえのない宝物です。バンダイナムコグループは教育・スポーツなどを通じた次世代育成活動に注力するほか、子どもの福祉・健康を支援する活動などにも取り組んでいます。

→出張授業の実施

→子どもたちへの支援



ファンコミュニティの活性化

バンダイナムコグループの持つIPを活用することで、今まで届きにくかった情報が、世界中のファンの皆さんに届いていく。バンダイナムコグループは、サステナブルな未来を実現するために、IPのチカラを存分に活用していきます。

→文化・情報発信への取り組み

→新型コロナウイルス感染症への対策

主な取り組み



地域コミュニティとの連携

バンダイ本社周辺に地域の方が楽しめる空間を創出



地域コミュニティとの連携

業界団体による地域振興イベントに協力



地域コミュニティとの連携

地域活性化とアニメ文化の発展に貢献



地域コミュニティとの連携

地域の青少年の健全育成に協力



地域コミュニティとの連携

交通安全への貢献



地域コミュニティとの連携

農福連携による雇用創出・価値提供に注力



地域コミュニティとの連携

アニメの舞台となった地域の活性化を支援



地域コミュニティとの連携

北米の地元球団とスポンサーシップ契約を締結



地域コミュニティとの連携

おもちゃを通じて子どもたちの心のケアを支援



地域コミュニティとの連携

音楽を通じて被災地支援に協力



地域コミュニティとの連携

外部の子ども支援団体と協力して支援活動を展開



次世代に向けた教育支援

おもちゃを題材にした出前授業を開催



次世代に向けた教育支援

プラモデル授業「ガンプラアカデミア」でものづくりへの興味を喚起



次世代に向けた教育支援

プロスポーツ選手による訪問授業で子どもたちの夢を応援



次世代に向けた教育支援

上海市内の学校でプラモデル教室を開催



次世代に向けた教育支援

小中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑」に協賛



次世代に向けた教育支援

企業訪問学習に協力



次世代に向けた教育支援

宇宙開発フォーラムを応援



次世代に向けた教育支援

「Sport in Lifeプロジェクト」に参画



次世代に向けた教育支援

アメリカの子どもたちの健康・福祉を支援



次世代に向けた教育支援

IPを活用してチャリティイベントを支援



次世代に向けた教育支援

「こどもエコクラブ」との連携
で環境学習を支援



ファンコミュニティの活性化

「おもちのまちバンダイミュージアム」で文化や歴史を発信



ファンコミュニティの活性化

「バンダイこどもアンケート」
で子どもたちの状況を調査



ファンコミュニティの活性化

中国における無形文化遺産の伝承
を支援



ファンコミュニティの活性化

自宅で過ごす子どもたちのための
動画を提供



ファンコミュニティの活性化

感染症予防の手洗い推進啓発ポ
スターを無料配信



ファンコミュニティの活性化

おもちゃで培った金型生産技術
で医療現場を支援



ファンコミュニティの活性化

ライブエンターテインメント産
業を支援

地域コミュニティとの連携

バンダイナムコグループは地域社会の一員として、地域に密着した社会活動に取り組むとともに、IPを活用し、地域経済の活性化にも取り組み続けます。

自社拠点

地域活性化

被災地支援

自社拠点における取り組み

バンダイ本社周辺に地域の方が楽しめる空間を創出

バンダイ本社では1階・2階をミュージアムとして、お越しいただいた一般の方々に楽しんでいただける空間を演出しています。このほか、本社横にはさまざまなキャラクターの立像を設置するなど、地域の皆さまとの交流や地域への貢献に努めています。

※ 現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、一般のお客さまの入館をお断りさせていただいています。再開時期については未定です。



© BANDAI
© やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV
© BANDAI/TV TOKYO・ここたま製作委員会
© パードスタジオ/集英社・東映アニメーション
© Fujiko-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK

業界団体による地域振興イベントに協力

バンダイは、玩具メーカーや関連企業によって構成される栃木県内壬生町の工業団地「おもちゃのまち」に工場拠点を有しています。地域の一員として、「おもちゃ団地協同組合」が開催する社会貢献・地域活性化イベントに積極的に参加し、グループ会社によるおもちゃバザーの出展などを通じて、イベント全体を盛り上げています。

※ 2020年度、2021年度は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、実施していません（写真は2019年度の活動）。



自社拠点

地域活性化

被災地支援

地域コミュニティとの連携

バンダイナムコグループは地域社会の一員として、地域に密着した社会活動に取り組むとともに、IPを活用し、地域経済の活性化にも取り組み続けます。

自社拠点

地域活性化

被災地支援

地域活性化への貢献

地域活性化とアニメ文化の発展に貢献

バンダイナムコフィルムワークスでは、拠点を置く杉並区と連携し、「アニメのまち杉並」としての地域活性・アニメ文化の発展に貢献しています。

杉並区が製作するアニメ作品のキャラクターフラッグに画像を提供し、JR中央本線・東京メトロ丸ノ内線「荻窪駅」周辺に展示するほか、西武新宿線「上井草駅」前に機動戦士ガンダムのモニュメントを設置。このモニュメントは、地域の火災予防運動などの啓発にも活用されています。

また、区内でのイベント開催にも積極的に協力しています。2021年度には、地域の年間行事である「上井草スポーツフェスティバル2021」において、杉並区内の公共体育施設で指定管理をしているTAC・FC東京・MELTEC共同事業体とともにスタンプラリーを協同開催しました。



© 創通・サンライズ

地域の青少年の健全育成に協力

アミューズメント施設には青少年の利用者も少なくありません。バンダイナムコアミューズメントでは、関係機関と円滑に連携しながら、地域の青少年の健全な育成を図るべく、社内での「AOU青少年アドバイザー※」の資格取得を推進しています。アドバイザーの在籍する店舗にはその旨をパネル表示しています。

※ 業務用ゲーム業界、遊園施設業界をまとめる業界団体「JAIA（一般社団法人日本アミューズメント産業協会）」が主催する「AOU青少年指導員養成講座」研修の修了者。青少年育成活動の専門的な知識と経験を有する。



交通安全への貢献

バンダイロジパル・ロジパルエクスプレスのトラック・乗用車を配置している事業所では、交通安全活動の一助となるよう、周辺地区の交通安全協会に対して継続的な寄付を行っています。また、春・秋の交通安全週間には所轄の警察署や交通安全協会とともに街頭での啓発活動に取り組んでいます。



寄付への感謝状授受の様子

農福連携による雇用創出・価値提供に注力

グループの特例子会社であるバンダイナムコウィルでは、農福連携（農業と福祉の連携）の視点から、栃木県鹿沼市に農作物生産を行う事業所を設けています。当該事業所では、地元の公益法人との連携により、梨を中心とする果実、ジャガイモやトマト、落花生などを生産。障がいのある人たちの安定した雇用の創出を図り、地域とグループに新たな価値をもたらすべく取り組んでいます。



アニメの舞台となった地域の活性化を支援

バンダイナムコフィルムワークスでは、アニメ「ラブライブ！サンシャイン!!」の舞台である静岡県沼津市の地域活性化を支援しています。

「沼津観光ポータル」に「ラブライブ！サンシャイン!!」ロケ地を楽しく巡るモデルコースを掲載しています。また、鉄道やバスなど公共交通機関のラッピング車両企画、さらには市内の観光地を巡ってご当地スタンプを集める「まちあるきスタンプ」などにも協力し、地域の方々とともに沼津市の観光産業を盛り上げています。



© 2017 プロジェクトラブライブ！サンシャイン!!
© 2019 プロジェクトラブライブ！サンシャイン!!ムービー

北米の地元球団とスポンサーシップ契約を締結

北米地域では、拠点所在地であるカリフォルニア州の地元球団ロサンゼルス・エンゼルスとスポンサーシップ契約を締結しています。バンダイナムコのロゴマークやパックマンがデザインされた看板をスタジアムに掲出するほか、エンゼルのラジオ番組やSNSでバンダイナムコの情報を配信するなど、多彩な演出でバンダイナムコファンとエンゼルスとをつなぎ、ともに球場を盛り上げています。



PAC-MAN™& ©Bandai Namco Entertainment Inc.

自社拠点

地域活性化

被災地支援

地域コミュニティとの連携

バンダイナムコグループは地域社会の一員として、地域に密着した社会活動に取り組むとともに、IPを活用し、地域経済の活性化にも取り組み続けます。

自社拠点

地域活性化

被災地支援

被災地への支援

おもちゃを通じて子どもたちの心のケアを支援

バンダイは、災害の現場における子どもの不安やストレスの軽減に向けて、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの協力のもと、心のケアを目的としたオリジナルのおもちゃを企画・製造しました。

本おもちゃは、慣れない避難生活のなかで子どもに寄り添い、安らぎを与えてくれる「話し相手」「仲間」となれるよう企画されました。今後、セーブ・ザ・チルドレンが災害発生時に支援品として現地に届ける「緊急子ども用キット」に同梱して被災地へお届けする予定です。

また、その他にも必要とする人・場所にお届けできるよう、被災地支援団体や自治体などにおける備蓄品として、積極的に提供していきます。

このほか、被災地の状況やニーズを確認しつつ、現地受入が可能な場合には「ガシャポントラック」を派遣することも検討しています。



「緊急子ども用キット」

音楽を通じて被災地支援に協力

バンドダイナムミュージックライブでは、アーティストの公演会場や配信ライブで販売するチャリティーグッズの売上金の一部を、震災や豪雨などで被災した地域に、日本赤十字社を通じて義援金として寄付するなどの取り組みを行っています。



茅原実里 無観客配信ライブ「SUMMER CHAMPION 2020」(チャリティーリストバンド)
© Bandai Namco Music Live Inc.

外部の子ども支援団体と協力して支援活動を展開

バンドダイナムホールディングスは、2011年から、子ども支援活動の専門家である公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと連携し、国内被災地の子どもたちを対象としたワークショップなどを実施しています。また、被災地支援を含むサステナブル活動のさらなる深化に向けて、同団体の協力のもと、サステナビリティの最新動向などを紹介する従業員向けセミナーも実施しています。

また、株主優待を活用して、株主様とともにセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ毎年合計1,000万円の寄付を行っています。寄付金は、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが実施する日本国内の子どもたちへの支援活動に充当され、被災地支援にも活用されています。なお、不安定な情勢が続くウクライナ国内および周辺国に避難された方の人道支援目的でも、別途1億円の寄付を実施しています。



© Nashua Nanah / Save the Children

自社拠点

地域活性化

被災地支援

次世代に向けた教育支援

未来を担う子どもたちはかけがえのない宝物です。バンダイナムコグループは教育・スポーツなどを通じた次世代育成活動に注力するほか、子どもの福祉・健康を支援する活動などにも取り組んでいます。

出張授業

子ども支援

出張授業の実施

おもちゃを題材にした出前授業を開催

バンダイでは、主に関東近辺の小中学校を対象とした無料の出前授業を実施しています。「おもちゃのエコ」「おもちゃのユニバーサルデザイン」「おもちゃの安全・安心」「統計と品質管理」の各プログラムを用意しており、環境配慮や品質管理などのテーマについて、おもちゃを例にわかりやすく学ぶことができます。

2021年度は、教材提供型の授業プログラムも含め、146か所を実施し、約9,500人が授業を受けました。



プラモデル授業「ガンブラアカデミア」でものづくりへの興味を喚起

BANDAI SPIRITSは、2021年10月から、「ガンブラ」を題材にした無償の授業パッケージ「ガンブラアカデミア」を開発し、全国の小学校に提供しています。



本授業では「ガンブラ」の組み立て体験を行うほか、BANDAI SPIRITSのプラモデルを生産する工場「バンダイホビーセンター」の設備や生産工程、仕事内容を紹介する映像を視聴します。これらの内容を通じて、ものづくりの楽しさや、社会・環境課題への取り組みについて学んでもらい、ひいては優れた技術や持続可能なものづくりへの関心を高めてもらうことを目的としています。

2022年3月までの半年間で、全国約1,400校、約9万人の児童に参加いただきました。

プロスポーツ選手による訪問授業で子どもたちの夢を応援

バンダイナムコエンターテインメントが運営に参画するプロバスケットボールチーム「島根サノオマジック」では、選手が島根県内の幼稚園、保育園、小学校に訪問し、子どもたちと将来の夢について語り合う「夢授業」の活動を行っています。2021年度は14校で実施しました。



上海市内の学校でプラモデル教室を開催

BANDAI SPIRITSは上海教育発展基金会と共同で、上海市内の小学校などの教育機関において、プラモデル教室を開催しています。

※ 2020年度、2021年度は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、実施していません（写真は2019年度の活動）。



© 創通・サンライズ

出張授業

子ども支援

次世代に向けた教育支援

未来を担う子どもたちはかけがえのない宝物です。バンダイナムコグループは教育・スポーツなどを通じた次世代育成活動に注力するほか、子どもの福祉・健康を支援する活動などにも取り組んでいます。

出張授業

子ども支援

子どもたちへの支援

小中学生向けキャリア教育教材「おしごと年鑑」に協賛

「おしごと年鑑」(朝日新聞社発行)は、子どもたちの仕事への興味を喚起し、将来のキャリアを描く助けとなるべく、全国の小中学校と教育委員会等に寄贈されているキャリア教育教材です。

バンダイナムコエンターテインメントでは、「おしごと年鑑」に2019年から協賛。ゲーム業界にはどのような仕事があるのかを紹介しています。



「ゲームはどうやって作られているの?」をテーマにした会社紹介ページを掲載

企業訪問学習に協力

バンダイナムコフィルムワークスおよびバンダイナムコピクチャーズでは、小中学生・高校生を対象とした企業訪問を受け入れています。アニメ制作やIPプロデュースについて学んでもらうとともに、アニメーション業界の現場の声をお届けしています。

近年ではオンラインで全国各地からの遠隔参加が可能となっています。2021年度は10校（約200名）を受け入れました。



©創通・サンライズ

宇宙開発フォーラムを応援

宇宙空間を舞台にしたSFアニメーションを多く手掛けるバンダイナムコフィルムワークスでは、学生団体の主催する「宇宙開発フォーラム」の開催を支援しています。同フォーラムの「学生の視点から宇宙開発の今を見つめ、文理の垣根を超えた議論をしたい」という想いに賛同したものです。

2021年度は、フォーラムで使用する画像を提供したほか、参加者のブレインストーミングなどにも協力。当日はのべ190名が参加しました。



「Sport in Lifeプロジェクト」に参画

バンダイとバンダイナムコアミューズメントでは、スポーツ庁が提唱する「Sport in Lifeプロジェクト」に参画しています。

本プロジェクトは、同庁が目標に掲げる国民のスポーツ実施率70%程度までの引き上げ達成に向けて、地方自治体、スポーツ団体、経済団体等、オールジャパンでスポーツ振興に取り組むものです。

両社ではこの趣旨に賛同し、専用アプリと連動して運動を推進するスマートシューズの開発や、スポーツ体験施設の企画運営などを通して、子どもたちを中心に幅広い年齢層に向けて、スポーツを楽しむ心をはぐくんでいます。



バンダイ小学生向けスポーツシューズUNLIMITIV（アンリミティブ）



バンダイナムコアミューズメント:スペースアスレチック トンデミ (TONDEMI)

アメリカの子どもたちの健康・福祉を支援

Bandai Namco Toys & Collectibles Americaでは1995年、アメリカ国内に慈善事業などを目的とする非営利団体「BANDAI FOUNDATION」を設立しました。以来、同財団を通じて、子どもたちの健康や福祉に焦点を当てたチャリティ寄付などの支援活動を行っています。

2021年度には、Bandai Namco Entertainment Americaと提携し、「Pac-Man Takes a Bite out of Hunger」キャンペーンを発足。カリフォルニア州アーバイン市で新たなグループ拠点を立ち上げたことにちなんで、地元のフードバンクへの寄付を行うとともに、カリフォルニア南域の食糧難を解消することを目的とした、持続可能な農場の立ち上げ資金を提供しました。

今後も、子どもたちとその家族がより良い生活を送れるよう支援していきます。



PAC-MAN™ & © Bandai Namco Entertainment Inc.

IPを活用してチャリティイベントを支援

Bandai Namco Entertainment Germanyは、2021年12月に行われたドイツで最大のゲームチャリティイベント「Friendly Fire」に、スポンサーとして参加しました。当日は「エルデンリング」のキャラクターを制作する陶芸コンテストを実施したほか、イベント中のライブオークションに「エルデンリング」に登場するキャラクター「マレニア」の等身大フィギュアを提供し、落札額を慈善団体に寄付する取り組みなどを行い、自社のIPを最大限に活用してイベントを盛り上げました。

「こどもエコクラブ」との連携で環境学習を支援

バンダイナムコグループは、子どもたちの自主的な環境活動や環境学習を促す「こどもエコクラブ※」の活動に協賛し、パートナーとして支援しています。同団体が開催する環境学習会を、グループ社員とその家族も環境学習の場として活用しています。

※公益財団法人日本環境協会による子どもの環境活動の支援事業。環境省の後援および文部科学省の支援のもと、地方自治体や企業・団体と連携を図りながら実施されており、2022年3月現在で全国約1,700クラブ、約9万人が会員となっている。



環境学習会の様子（写真は2019年度の活動）

出張授業

子ども支援

ファンコミュニティの活性化

バンダイナムコグループの持つIPを活用することで、今まで届きにくかった情報が、世界中のファンの皆さんに届いていく。バンダイナムコグループは、サステナブルな未来を実現するために、IPのチカラを存分に活用していきます。

文化・情報発信

感染症対策

文化・情報発信への取り組み

「おもちゃのまちバンダイミュージアム」で文化や歴史を発信

バンダイは2007年4月に、栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまちに「おもちゃのまちバンダイミュージアム」を開設しました。本ミュージアムは、バンダイが所有するトイコレクションやエジソンの発明品などを一般に公開し、子どもたちの学習や専門家の研究、レクリエーションなどの機会を提供することを目的としています。2020年6月にはリニューアルを行い、新たな展示コーナーなどを追加しました。



2022年3月現在、「ジャパントイ」、「ワールドトイ」、「ホビー（ガンプラ）」そして「エジソンの発明品」の4つのテーマミュージアムから構成される館内に、所蔵総数約35,000点の中から常時9,000点のコレクションを展示しています（うち約7,000点がバンダイ商品）。

「バンダイ子どもアンケート」で子どもたちの状況を調査

バンダイでは、現代の子どもたちの実態をバンダイ流に解き明かすという目的から、主に0歳から12歳までの子どもたちの保護者の方を対象とする「バンダイ子どもアンケート」を1995年から実施しています。調査結果は、報道機関やバンダイ公式サイトを通じて発表しています。

詳細は公式サイトをご覧ください。

→<https://www.bandai.co.jp/kodomo/> 



中国における無形文化遺産の伝承を支援

Bandai Namco Holdings Chinaでは、2018年より中国の無形文化遺産の保護活動を行っています。

2021年度は、上海図書館、蘇州図書館と連携して、無形文化遺産である「古籍修復」と「拓本技術」の体験イベントを実施しました。当日は一般の方々から中国の伝統や技術の大切さを認識していただきたいという想いのもと、「機動戦士ガンダム碑」の拓印体験を実施。伝統文化を新しい感覚で楽しんでいただけるような取り組みとすることで、180名以上の方に参加いただきました。なお、Bandai Namco Holdings Chinaは、本活動について「2022年スティービー賞※1 アジア・パシフィック 公共企業活動革新賞 金賞」「2022年スティービー賞 国際ビジネス賞 銀賞」「2022年 Golden World Awards※2 金賞」を受賞しています。



© 創通・サンライズ

※1：積極的に社会に貢献している世界中の企業／団体や働くプロフェッショナルの業績を評価し認知度を高めるために、2002年に創立されたビジネス賞

※2：国際PR協会が主催し、国際的な基準を満たした優れたPR活動を表彰する国際アワード

ファンコミュニティの活性化

バンダイナムコグループの持つIPを活用することで、今まで届きにくかった情報が、世界中のファンの皆さんに届いていく。バンダイナムコグループは、サステナブルな未来を実現するために、IPのチカラを存分に活用していきます。

文化・情報発信

感染症対策

新型コロナウイルス感染症への対策

自宅で過ごす子どもたちのための動画を提供

バンダイナムコホールディングスとキャラ研は、コロナ禍においても子どもたちが楽しい時間を過ごせるよう、絵本キャラクター「くまのがっこう」を用いた動画「映像版ジャッキーキャラバン」を制作。幼稚園・保育園の先生のための会員制無料情報サイト「くまのがっこうしょくいんしつ」を通じて、限定配信やDVD版の貸出を行っています。2年目となる2021年度は、7月から9月にかけて第3回目、12月から3月にかけて第4回目の限定配信を行いました。

このほかバンダイでは、子どもたちが屋内でも楽しく運動に取り組めるよう、IPを活用した運動動画を無料配信しています。キャラクターたちとともに運動不足を解消できる動画となっており、運動内容は日本女子体育大学教授の深代先生監修のもとに考案されています。



© BANDAI



© BANDAI

感染症予防の手洗い推進啓発ポスターを無料配信

バンダイナムコフィルムワークスでは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、厚生労働省と協力し、『ラブライブ！サンシャイン!!』に登場するスクールアイドル、Aqoursをあしらった手洗い推進啓発ポスターを制作し、2020年5月12日から無料配信しています。

ポスターは厚生労働省のサイトや『ラブライブ！サンシャイン!!』公式サイト、SNSを通じて配布しています。手洗いについての知識啓発目的に限り、自由にダウンロードして、施設などで利用できます。



『ラブライブ！サンシャイン!!』
公式サイト ポスター配信
© 2017 プロジェクトラブライブ！
サンシャイン!!

おもちゃで培った金型生産技術で医療現場を支援

シーズ（現バンダイナムコクラフト）では2020年4月、菊名記念病院（所在地：神奈川県横浜市）から要請をうけ、飛沫防護マスク(フェイスシールド)を生産し、医療機関へ寄付しました。以降も、市町村や警察、行政機関などへ寄付を実施しています。

2020年5月からは正式に生産を開始し、医療機関を対象として販売しています。保有する技術を活かして、今後も感染症対策の現場を支援していきます。



飛沫防護マスク

ライブエンターテインメント産業を支援

バンダイナムコミュージックライブでは、業界団体の設立する基金への寄付などを通じて、活動継続が困難を極めている日本のライブエンターテインメント産業を担う事業者・スタッフを支援しています。